



■“ピカチュウ・ザ・ムービー”過去15作品の興行成績

(1998年「ミュウツウの逆襲」～2012年「キュレム VS 聖剣士 ケルディオ」、全15作品)

総動員:約6421万人
総興収:680.3億円(平均興収45億円)

		公開年	動員	興収
1	『ミュウツウの逆襲』	1998年	654万人	72.4億円
2	『幻のポケモン ルギア爆誕』	1999年	560万人	62.0億円
3	『結晶塔の帝王 エンテイ』	2000年	450万人	48.5億円
4	『セレビィ 時を超えた遭遇』	2001年	360万人	39.0億円
5	『水の都の護神 ラティアスとラティオス』	2002年	250万人	26.7億円
6	『七夜の願い星 ジラーチ』	2003年	430万人	45.0億円
7	『裂空の訪問者 デオキシス』	2004年	420万人	43.8億円
8	『ミュウと波導の勇者 ルカリオ』	2005年	410万人	43.0億円
9	『ポケモンレンジャーと蒼海の王子 マナフィ』	2006年	321万人	34.0億円
10	『ディアルガVSパルキアVSダークライ』	2007年	480万人	50.2億円
11	『ギラティナと氷空の花束 シェイミ』	2008年	466万人	48.0億円
12	『アルセウス 超克の時空へ』	2009年	454万人	46.7億円
13	『幻影の覇者 ソロアーク』	2010年	400万人	41.6億円
14	『ビクティニと黒き英雄 ゼクロム 白き英雄 レシラム』	2011年	419万人	43.3億円
15	『キュレムVS聖剣士 ケルディオ』	2012年	347万人	36.1億円

■最新作「劇場版ポケットモンスター ベストウイッシュ 神速のゲノセクト ミュウツー覚醒」
同時上映「ピカチュウとイービィ☆フレンズ」

長編『神速のゲノセクト ミュウツー覚醒』ストーリー

大都会ニュートークシティを訪れていたサトシとピカチュウたちは、ポケモンたちのために設計された施設「ポケモンヒルズ」に立ち寄る。すると見慣れないポケモンが現れ、「ウチニカエリタイ…」とテレパシーで語りかけてきた。それは、3億年前の化石から人間の手によって現代によみがえったポケモン、ゲノセクトだった。同情したサトシは帰るべき場所を一緒に探そうとするが、彼らを引き裂くように赤いゲノセクトが現れ、すさまじいエネルギー弾を発射する。その絶体絶命のピンチを救ったのは、なんと伝説のポケモン、ミュウツーだった。「ゲノセクトは、本来この世界にいるはずのないポケモンなのです。私と同じように…」人間に作りだされたミュウツーは、何とか力になるようとするが、その思いは届かず、ついに2体は相対することに！ 覚醒したミュウツーが見せる本当の力とは？ 運命に導かれた激闘の結末は？

短編『ピカチュウとイービィ☆フレンズ』ストーリー

新しいお友達ニンフィアに案内されてピカチュウたちがたずねた先は、自然を利用して作られた大きなおうち。そこにはイービィの仲間たちが大集合！さらにはニャースの登場で、イービィハウスは大騒ぎに…。

特別出演

高島礼子(ミュウツー役) 山寺宏一(赤いゲノセクト役) 中川翔子(ニンフィア役) 平成ノブシコブシ(エリック役、イツツブテ役) 前田敦子(短編ナレーション)

■ポケモン映画公式サイト www.pokemon-movie.jp

<この件に関するお問い合わせ>

テレビ東京広報局

電話 03-5470-7777